

## 橋本市政の成果と課題

改善に向けて努力

**質**

橋本市長が誕生して、4年を終えようとしている。

成果として、新庁舎の建設やケーブルテレビ事業、義務教育児童の医療費の無料化、三重総合高校生への奨学金制度の創設、コミュニティバスの運行拡大、インキュベ-

**答** 市長

シオンファームの開設、鳥獣被害対策、自治基本条例の制定などがあると思うが、市長の考えは。

に対し、市の実質負担が5億4997万3千円となり、事業費の総額に対し、1割以下で実施できました。義務教育児童の医療費の無料化は、県下の市では初めて平成21年10月から市単独事業として、中学生までを対象に実施してきました。鳥獣被害対策は、猟友会と協議し、市内全域での駆除が許可できるようになったところ

です。

**質**

課題として、行財政改革と地域の活性化や介護保険料の抑制、ジオパーク構想の具現化、太陽光発電利用構想、行政組織の活性化と職員の意識改革などが考えられるが。

**答** 市長

行政組織の活性化と職員の意識改革は、市長就任以来、「住民の声を聞くこと」「地域にすむ生活者として意識すること」「仕事の専門性と政策能力の向上」の3点をもって職務に精励するよう常々申してきたところで

**質**

研修などによる職員の資質向上も重要だが、意識改革で一番大事なのは「職場の和・人の和」では。

**答** 市長

「人は石垣、人は城」というように、和が大切だと思っています。地域担当制を導入したのは、職員が地域の中に行って声を聞き、公務労働者として何が

必要かということを感じながら、和をもつて進めていくような組織が望ましいし、それを目指してやっていかなければいけないと考えています。



建設中の新庁舎

## 順調か！ケーブルテレビ事業は

～ さらなる質の向上を目指して取り組む ～



ながのけんじ  
長 野 健 児

**質**

開局以降の運営状況および市民チャンネルの活用は。

**答** 市長

平成23年6月に開局し、本年度は10月までの月平均で使用料が1166万円、施設使用料が950万円、契約件数は平成24年4月以降では、ほぼ横ばいとなっています。



ケーブルテレビセンター（大野町）

自主制作番組としては、定期に放送する「なないろ情報チャンネル週間！情報トレイン」などで、臨時に放送するものとして「なないろ元氣風」や「特別番組」があります。

さらに、平成24年は新たに各課長による「行政連絡」の放送を行いました。

なお、モニター制度については、平成25年2月の放送番組審議会に提案する予定です。

## 万全か！市消防本部の出動態勢は

～ 個々のスキルアップに努め、災害に備える ～

**質**

県は大分大学医学部附属病院を基地病院とし、平成24年10月1日よりドクターヘリの運航を開始したが、本市の対応は。

**答** 消防長

傷病者に対し、救命率の向上および後遺症の軽減を図り、高度の医療を必要とする傷病者を適切な医療機関へ迅速に搬送することを目的としています。

市内8カ所の場外離発着場を選定しているが、現場の状況により、緊急着陸が必要と判断した場合には、現場直近の適切な場所を確保し、人員を配置するな



大分大学医学部附属病院で待機中のドクターヘリ

**質**

緊急出動態勢は万全か。

**答** 消防長

通信指令室は出動指令を出す消防の中核であり、通信指令装置は119番受信中に災害地点の正確な位置が確認でき、災害地点に一番近い車両を出動させています。

通信指令員は、定期的に指令装置を訓練モードに変更し、住所検索、災害地点の決定や出動指令の訓練を行っています。

ど速やかな安全管理に努め、離着陸を行っており、市内へは約10分前後で到着します。運航開始後、11月末までの2カ月間で96件出動し、本市へは9件となっています。